

I 活動方針

世界経済は地殻変動の様相を呈している。世界同時不況は世界経済の構造変化を加速し、金融の肥大化は世界経済を攪乱するとともに、ICTの進化が世界の連動を支えた。エネルギーや穀物の高騰は地球温暖化と結び付いているが、中国やインドの経済的躍進の反映でもある。資源の争奪戦は地球の隅々にまで及んで、国際的な相互依存がさらに深まり、G7からG20へと拡大しなければ問題は解決しなくなっている。

こうした環境変化に日本は対応が出来ているのかが昨今の議論の中心になっている。製造業に依存する日本経済の限界が新聞紙上でも多くの紙面を割き、日本は戦後の成功体験に引きずられてきたとの意見が多い。こうした論調が仕組みを変え行き詰まりを打破したいとの思いが政権交代へと導いた一因である。新政権は公共工事などの「伝統的政策」からの脱却を謳い、「コンクリートから人へ」を掲げ改革を目指している。やはり体制の変化というものは時間をかけなければ社会制度として定着は難しいというのが一般的な見方ではないだろうか。性急な評価は下せないというのが現状である。結論から言えば、政府が出来ることは一時的な措置であり再配分である。

現実的に産業界は悠長な議論を待つ余裕は無い。大企業といえども安泰ではない昨今の経済情勢、ましてや地域の中小零細な企業には依然として不透明な先行きに不安定な経営を強いられている。連日のように報道される日本経済に対する悲観論に地域はどうすれば良いのか、世界が変化し続ける中で、国際標準に否応なしに対応しなければならないことは十分に承知している。かつてない大変革に時代に唯一対抗できるのは地域の結束であると確信している。夫々が理解しあって支えあって励ましあう仲間の存在である。以前は「危機意識をもっているのは社長だけ」といわれたが、従業員も危機意識を持つ時代が今である。商工会議所には多種多様な会員が結集している。会員同士がお互い「諦めなければ、何とかなる」と励ましあうことが、力強く“事業継続・市場創造”する原動力となると信じている。

本年は商工会議所が事業主に代わって、従来から実施している従業員向けの参加型事業をその家族まで参加が可能な事業へと充実拡大を図ります。また、この時代を生き抜いていく大きなテーマである“だいすき宝塚”を会員の皆様と強力で推進してまいります。すべての社会活動、経済活動を「持続可能」なものに変えるために、会員の皆様にはより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

Ⅱ 重点事業

(策定方針)

会員事業所に働く喜びと誇りを実感できる事業の推進

1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開
 - (1) 「宝塚市産業活性化推進会議」の運営
2. 産業活性化策の積極的推進
 - (1) 地域活力増進事業の推進
 - ① 「商人塾」の開催
 - ② だいすき宝塚推進事業「(仮称)がんばろう宝塚」の実施
 - (2) 創業・起業支援事業の促進
 - ① 「起業(創業)なんでも相談日」の開設
 - ② 空き店舗等情報提供事業の実施
 - (3) 労働環境対策事業
 - ① 「明るい労働環境」推進支援事業の実施
 - (4) 「すまい・るネット宝塚」事業の実施
3. 組織の基盤強化
 - (1) 会員増強運動の展開
 - (2) 会員福利厚生事業の充実
4. 中心市街地活性化への支援
5. 「だいすき宝塚」推進事業の企画・推進
 - (1) 「だいすき宝塚」事業推進委員会の設置
 - (2) 「(仮称)がんばろう宝塚」の実施
 - (3) 「明るい労働環境」推進事業の実施
 - (4) 「すまい・るネット宝塚」事業の実施
 - (5) レジ袋削減への取り組み

(Ⅱ 重点事業の概要)

1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

(1) 「宝塚産業活性化推進会議」の運営

企業立地・誘致策や北部開発等地域課題を総合的に整理することを目的とし、経済活性化常任委員会において研究、各部会で検討議論する。

2. 産業活性化策の積極的推進

(1) 地域活力増進事業の推進

① 「商人塾」の開催

昨年度に引き続き大型店出店対策の一環として“宝塚まちなか商業”の活性化を目指し、今年度は「ICT活用」をテーマに実施する。

② だいすき宝塚推進事業「(仮称) がんばろう宝塚」の実施

市内消費が冷え込む中、消費者に負担の少ない「ワンコイン」という価格設定で購買意欲を促進し、会員事業所がワンコインで質の良い商品やサービスを提供することにより地域の独自色を発揮し会員事業所の活力増進と消費活性化を目的に実施する。

事業の中核をなす事業としてスタンプラリーを実施し、期間を限定してイベント的效果を担う。小規模零細な事業所単独では実施が困難な「ワンコイン」事業を、様々な商材やサービスを商工会議所が一堂に集め紹介、参加店で「ワンコイン」商品等購入ごとにスタンプを集め、一定の数により抽選に参加することが出来る内容。後日抽選により会員事業所の賞品を得る、事業の付加価値を高めることや市内産品等の普及に努める事業を実施する。

(2) 創業・起業支援事業の促進

① 「起業（創業）何でも相談日」の開設

従来年4回「起業（創業）何でも相談日」を日本政策金融公庫と共催で開催、本年度は新たにその発展型として、月1回「起業（創業）個別相談」を開設する。

② 空き店舗情報等提供事業の実施

空き店舗対策に係る公的な支援制度や空き店舗・工場等の情報を集約し、ホームページやパンフレット等により情報をわかりやすく公開する。

(3) 労働環境対策事業

①「明るい労働環境」推進事業の実施

〈交流〉〈学ぶ〉〈備える〉〈健康〉〈体感する〉5つのテーマに沿って会員事業主のみならず従業員等の参加が可能な事業を拡充または新設する。市内企業の互助互恵の精神を発揮して連帯感を高めるとともに職場の連帯感を醸成する事業を実施する。企業単独では実施し難い事業を、商工会議所がスケールメリットを活かし労働環境改善の一助とする。

(4)「すまい・るネット宝塚」事業の実施

地産地消の精神に則り、市民の声に応える事業として創案。住宅（マンションを含む）の補修・改修等市民が安心して相談できる窓口の設置の前段として、市民相談に応じる一定の要件を満たす会員事業所の参加を募る事業を実施。

3. 組織の基盤強化

(1) 会員増強運動の展開

会員増強月間を設定し、一大キャンペーンを企画、役職員が一丸となり組織強化、基盤強化を図る。

(2) 会員福利厚生事業の充実

商工会議所の福利厚生機能を強化し、会員のための福利厚生事業として提供できるメニューを充実させる。

4. 中心市街地活性化への支援

5. 「だいき宝塚」推進事業の企画・推進

※(2)、(4)、(5)は前年度より継続

(1)「だいき宝塚」事業推進委員会の設置

(2)「(仮称)がんばろう宝塚」の実施 ※前掲参照

(3)「明るい労働環境」推進事業の実施 ※前掲参照

(4)「すまい・るネット宝塚」事業の実施 ※前掲参照

(5) レジ袋削減への取り組み

社会的に取り組み始めているレジ袋削減運動等を市内商業者、大型店、行政、消費者と協議し、活動を広めていく。